

アンケート骨子（案）について

資料 - 5

1. アンケート時の配布物

- PIパンフ（チラシの詳細版）
- 大和北道路関係資料一式
- アンケート調査票

2. アンケート調査票（案）

（1）フェイスシート（導入部）

質問項目	その必要性
【問1】個人属性 <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、職業、住所 ・自動車免許の有無 ・世帯の自動車保有数 ・家族の人数 	回答者の属性を把握
【問2】自動車の利用状況	
【問3】国道24号の利用状況	

（2）認識度の確認

質問項目	その必要性
【問4】地域の交通状況に関する認識度 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県北部地域の渋滞状況 ・住居周辺の道路への通過交通の進入 ・幹線道路沿道の生活環境（大気汚染、騒音など） 	交通状況の現状に対する回答者の認識を把握

（3）道路整備の必要性の整理

質問項目	その必要性
【問5】道路整備の必要性の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路や幹線道路の整備 ・生活道路の整備の必要性 ・国道24号の現状から見た対策の必要性 ・自動車専用道路網の必要性 	大和北道路の必要性に対する回答者の考え方を把握

(4) 道路整備に対する期待及び整備の際の配慮事項の整理

質問項目	その必要性
【問 6】道路整備に対する期待度の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺幹線道路の混雑緩和 ・ 生活道路への影響低減 ・ 自動車専用道路のネットワーク機能 ・ インターチェンジの必要性 ・ 地域経済への波及 	道路整備により様々な効果が期待されるが、それぞれの項目に対する回答者の期待度を把握
【問 7】道路計画における配慮事項に対する評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史文化遺産の保全 ・ 周辺住民の生活の保全 ・ 沿道環境の保全 ・ インターチェンジ周辺の環境の保全 ・ 換気塔周辺の環境の保全 ・ 自然環境の保全 	
【問 8】事業費に対する評価 課題別、各ルート別の費用	課題解決レベルと事業費の関係について回答者の考え方を把握

(5) ルート案の選定

【問 9】各ルート案の順位付け 各ルート案毎の道路の構造、機能、事業費等の情報提供（比較表、ルート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ルート案の順位付けとその理由 （理由については、(4) 期待、配慮事項の項目から選定）

(1) ~ (5) の大項目、中項目、小項目の項目を、質問する順等については今後さらに精査が必要。

3.アンケート調査

〔アンケートの配布（素案）〕

1) 訪問配布、訪問回収

	対象エリア	対象住民数	抽出率	調査対象者数
	大和北道路通過エリア	363千人	1/ 200	1,820 人
	以外の奈良県京 奈和通過エリア	302千人	1/ 200	1,510 人
	以外の奈良県	476千人	(1/ 1500)	310 人
	(奈良県計)	1,141千人		3,640 人
	京都南部地域	430千人	(1/ 720)	600 人
	大阪府全域	6,865 千人	(1/ 11000)	600 人
	和歌山県京奈和通 過エリア	450千人	(1/ 750)	600 人
	(奈良県以外計)	7,745 千人		1,800 人
	(合計)	8,886 千人		5,440 人

対象人数は、20歳以上とする。
抽出は、住民基本台帳から無作為抽出を行う。

2) ホームページ

対象：全国

3) 必要性パンフレットに関する回答者へ送付

〔その他〕

1) ヒアリング

2) 公聴会

3) 相談所